

法人概要

法人名 社会福祉法人東京老人ホーム

所在地 〒202-0022 東京都西東京市柳沢4-1-3
TEL:042-461-2230 FAX:042-461-2280

創立 1923年

職員数 148名（2026年1月時点）

【施設事業】

特別養護老人ホームめぐみ園
養護老人ホーム東京老人ホーム
軽費老人ホーム東京老人ホーム泉寮

事業内容

【在宅事業】

めぐみ園ホームヘルプサービス
めぐみ園指定居宅介護支援事業所

【受託事業】

富士町地域包括支援センター
西東京市高齢者見守り配食サービス

採用に関するお問い合わせ

TEL 042-461-2230
e-mail saiyou@tokyo-rojin-home.or.jp
公式LINE @614ypdhl



東京老人ホームHP



@TOKYOROJINHOME
Instagram



大切に思う気持ちを、 働くあなたにも。

社会福祉法人東京老人ホーム 採用案内



01 チームで協力しながら、質の高いサービスを提供する

2024年度 新卒入職
特別養護老人ホームめぐみ園
ケアワーカー



大切に思う気持ちを、働くあなたにも。

東京老人ホームの理念は「愛～人を大切に思う心～」。
この想いは、ご利用者やご家族だけでなく、地域の皆さま、そして法人で働く職員にも向けられています。
私たちは、職員が安心して働けることが、日々のケアをより温かく、より丁寧なものにしていくと考えています。
だからこそ、働く人の気持ちに寄り添い、心地よく過ごせる職場づくりを大切にしてきました。

安心して働くための5つの特徴

01

チームで協力しながら、質の高いケアを提供する

02

個々のペースに合わせて丁寧に育成する

03

働きやすい環境で、仕事とプライベートを両立する

04

多様な事業を通して、自分らしいキャリアを築く

05

地域交流への参加を通じて、学びや成長を深める

実習で感じた、介護の仕事の楽しさ

高校から福祉を学んでいたこともあり、福祉を身近に感じながら、自然と「将来は福祉に関わる仕事をしたい」と思うようになりました。大学は社会福祉学科に進学したので相談支援にも興味がありましたが、実習でご利用者と直接関わる時間がとても楽しく、介護の道を選びました。

入職前は夜勤などの不規則な勤務に不安もありましたが、働くうちに少しずつ慣れ、今では自分のペースで働けています。

みんなが支えてくれるから、安心して取り組める

めぐみ園には居室担当制度があり、4～5名程度のご利用者を担当します。ご利用者が安心して生活できるよう、ケアの方法や関わり方を中心となって考える役割です。私は2年目の4月から担当を持ち、責任を感じる場面も増えてきましたが、先輩職員が「大丈夫？」と声をかけてくれたり、すぐに相談できる機会を作ってくれるので、1人で抱え込まずに取り組んでいます。ご利用者の小さな変化にも気づき、声を掛け合えるチームなので、安心して働くことができます。

多職種と連携しながら、より良いケアを届ける

ご利用者の状態が大きく変化したときや看取りの場面では、看護職員、管理栄養士、生活相談員、機能訓練指導員など、多職種で話し合い、ご家族の気持ちも大切にしながら支援方法を考えます。それぞれの専門職の視点に触れられるので、自分の学びにもつながっています。

めぐみ園の魅力は、「聞きやすい先輩が何人かいる」のではなく、「誰にでも相談できる」ことです。日々声を掛け合い、より良い支援方法を追求していきけるチームだからこそ、質の高いサービスを届けられていると感じます。これからもチームで協力し、ご利用者が安心して過ごせる時間を少しでも増やせるよう取り組んでいきたいです。



食を通じた楽しみづくりに力を入れています！

めぐみ園では、ケアワーカーと管理栄養士が連携し、ご利用者に楽しんでいただけるお食事やおやつを企画しています。お食事は人生の最期まで大切な楽しみの一つであるため、毎日の生活が豊かになるように工夫をしています。



▲スイカ割り



▲甘酒とおみくじ



▲郷土料理（お好み焼き）

懐かしい味が
思い出話の
きっかけになることも

02 個々のペースに合わせて 丁寧に育成する

2021年度 中途入職
特別養護老人ホームめぐみ園
ケアワーカー



未経験の方も安心のエルダー制度

東京老人ホームでは、新入職員が安心して成長できるよう、入職から1年間かけて育成担当のエルダーがサポートする「エルダー制度」を導入しています。日々の会話や雑談を通して新入職員のことを理解し、その人のペースに合わせて丁寧に研修を進めていきます。挨拶や報連相といった社会人としての基本も、自身が見本となって伝えていけるように意識しています。

不安や悩みに寄り添いながらサポートしていきます。

新入職員が悩んでいる様子があれば、日々の会話や定期的な面談を通して早めに気づくようにしています。特に多いのは、「移乗介助がうまくできない」といった技術的な不安です。その際は、具体的なアドバイスを行うだけでなく、苦しい介助に多く入れるよう勤務を調整し、実践を重ねながら身につけられるよう支援しています。

また、独り立ち後も状況を確認し、必要に応じてフォローを続けています。過去には、苦しい業務をヒアリングしたうえで、その業務に集中的に取り組む「強化月間」を設けたこともありました。

少しずつ技術や知識が身につく、自信をもって業務に取り組めるようになる姿を見ることは、エルダーとして大きなやりがいです。めぐみ園には、エルダーだけでなくフロア全体で新入職員を気にかけて、支える風土があります。



▲ 移乗介助研修



▼ AED研修

他部署研修

4年目の職員を対象に、2日間の他部署研修を実施しています。他部署の業務に触れ、自部署での仕事や今後のキャリア形成に活かします。

特別養護老人ホームから 養護老人ホームへ研修に行った感想

養護老人ホームで自立支援を学び、生活歴や言動からご利用者の気持ちを読み取り、深く理解することが信頼関係につながると実感しました。今後は、研修での学びを活かして継続した支援を大切にしていきたいです。



シスター＆ブラザー会

仕事のこともプライベートなことも気軽に話せるよう、新入職員向けの交流の場を設けています。BBQや飲み会を通して、年齢の近い職員同士の距離が自然と縮まります。(年3~4回/費用は法人負担)



03 働きやすい環境で、 仕事とプライベートを両立する

2021年度 中途入職
富士町地域包括支援センター
認知症地域支援推進員



▲ 認知症地域支援推進員が主催した「認知症普及啓発イベント」の様子



地域づくりの推進役として

私は地域包括支援センターで、高齢者に関する相談対応や訪問、会議への参加などを行っています。また、認知症地域支援推進員として、認知症のある方やそのご家族が地域で安心して暮らせるよう、認知症カフェの運営や当事者の声を聞く会、認知症に関する講座の開催なども担当しています。

安心して育児休業を取得できた理由

出産に備えて育児休業について調べ、育児経験のある友人や家族に相談したところ、全員から「取れるなら絶対に取ったほうがいい」と言われ、取得を決めました。法人内で先に育児休業を取得した男性職員のインタビューも後押しになりました。

育児休業取得前は、周りに迷惑をかけるのではないかと不安でしたが、同僚が前向きに声をかけてくれたことで安心できました。上司は「人に仕事をつけない」という考えを大切にしており、普段から誰が担当しても業務が滞らないよう工夫しています。複雑なケースも皆で対応し、私が担当するサロンにも他の職員が定期的に参加してくれていました。

休業前には、私が担当するケースの会議に同僚が同席し、丁寧に引き継ぎができる体制を整えてもらえたため、安心して休業に入れました。休業中も大きなトラブルはなく、落ち着いて育児に向き合うことができました。

復帰後も無理なく続けられる働き方

もともと残業は少なく月に2時間程度のため、出勤前に一緒に過ごしたり、帰宅後にお風呂に入れたり、育児と仕事を無理なく両立できています。育児休業を経験したことで、育児に主体的に関わる意識が持てましたし、仕事へのモチベーションもさらに高まりました。色々と配慮してもらっている分、今度は自分が同僚を支え、フォローしていきたいと思いつつ働いています。



育児休業取得率 (過去3年の実績)

女性 100 %
男性 80 %

東京老人ホームでは、法定期間よりも長く、お子さんが1歳になる年度末まで育児休業を取得することができます。

平均残業時間 (2024年度実績)

法人全体 6.2 時間
ケアワーカー 5.4 時間

忙しいイメージのある介護業界ですが、残業は少なめです！趣味や家族の時間も大切にしながら働けます。

04 多様な事業を通して、自分らしいキャリアを築く

入職後は特別養護老人ホームめぐみ園のケアワーカーとして、介護の基礎を現場でしっかりと身につけていただきます。そこで培った経験を土台に、一人ひとりの希望や適性に応じて、さまざまなキャリアへとステップアップしていくことができます。



2014年度 新卒入職
めぐみ園指定居宅介護支援事業所 リーダー ケアマネジャー

社会福祉士を目指して入職し、特別養護老人ホームめぐみ園で生活相談員として経験を積んできました。施設で暮らすご利用者の支援に加え、地域との連携にも取り組む中で、「地域で生活する方々の支援にも携わりたい」という想いが生まれ、在宅部門での勤務を希望しました。今後はケアマネジャーとして、地域で暮らすご利用者の生活を支えていきたいです。

介護支援専門員
資格取得



2002年度 新卒入職
特別養護老人ホームめぐみ園 介護支援室長

介護の仕事が好きで、出産を経てもこの仕事を続けてきました。常に「ご利用者により良いケアを届けるにはどうすればよいか」を考えながら働いています。その一例として、ご利用者がゆっくり入浴できるように、入浴日を増やす提案を行ったことがあります。こうした日々の姿勢を評価していただき、キャリアアップにもつながっています。

育児休業

育児休業



年収例

特別養護老人ホームめぐみ園ケアワーカーの場合です。残業代・通勤手当は実績に応じて別途支給します。昇格の時期は、経験や状況により前後する場合があります。

入職2年目 一般職員
450万円~

月給 306,000円
賞与 772,000円
・夜勤月4回想定
・世帯主

入職5年目 リーダー
490万円~

月給 330,000円
賞与 868,000円
・夜勤月4回想定
・世帯主、子ども1人

入職10年目 主任
540万円~

月給 363,000円
賞与 980,000円
・夜勤月4回想定
・世帯主、子ども2人

管理職
640万円~

月給 402,000円
賞与 1,618,200円
・夜勤月2回想定
・世帯主、子ども2人

05 地域交流への参加を通じて、学びや成長を深める

2014年度 中途入職
富士町地域包括支援センター センター長
兼 地域貢献プロジェクト責任者



東京老人ホームは創立当初から地域とともに歩み、地域のニーズに目を向けながら運営してきました。イベントの開催や地域参加を通じて顔の見える関係を築くことで、地域の課題を把握し、制度にとられない地域貢献活動へとつなげています。今後も、地域が支え合い、安心して住み続けられる環境づくりに取り組んでいきます。地域交流は、ご利用者にとって社会とのつながりを感じられる貴重な機会であり、日々の生活に充実感をもたらします。職員にとっても、イベントや学校との交流を通じて地域とのつながりを実感し、楽しさと学びが仕事のモチベーションや視野の広がりにつながります。例えば、ひまわりの会や片付け支援事業などの地域貢献活動は、施設部門の職員にとっては、地域高齢者の状況を把握し、支援方法を学ぶ貴重な経験となっています。こうした地域交流で得られる学びは、専門職としての成長にもつながる大切な要素です。



片づけ支援事業

家族や地域との繋がりが薄れ、片付けにお困りの高齢者のご自宅を、無償で片づける支援を行っています。支援後は、地域のネットワークや介護サービスにつなぎ、住み慣れた地域で安心して暮らせるようサポートしていきます。



ひまわりの会

閉じこもりがちで物忘れのある地域の高齢者が、自信をもって主体的に活動できる居場所作りを行っています。法人が参画している「花いっぱいプロジェクト」で育てた花や苗を使って作品を作り、近隣の小学校などにプレゼントしています。



近隣の教育機関との連携

東京老人ホームでは、未来を担う子どもたちに高齢福祉を知ってもらうことを大切にしています。周辺の学校で車椅子体験や福祉の授業を実施したり、施設に子どもたちを招いてご利用者と交流していただいたりと、さまざまな活動を行っています。



わいわいダイニング

地域の方々に無料でカレーライスを提供する「わいわいダイニング」を開催しました。東京老人ホームが地域の“拠りどころ”として、困りごとや声を受け止められる場になることを目指しています。当日は関係機関にもご協力いただき、必要に応じてサービスにつなげました。

参加職員の声

特別養護老人ホームめぐみ園 ケアワーカー



小学校で高齢者疑似体験などの授業を行いました。最初は「意外と動けそう」と元気だった子どもたちが、最終的には「ずっとこれは辛い」と高齢者の負担を理解してくれたのが印象的でした。上手く教えられるか不安もありましたが、子どもたちが興味を持って話を聞いてくれたので、楽しく授業をすることができました。

養護老人ホーム東京老人ホーム 主任 生活相談員



人とのつながりが薄れがちで、誰もがふらっと立ち寄り、何気ない会話ができる場所をつくりたいと考えました。会話を重ねるうちに顔なじみとなり、地域の方々の声にならない想いにそっと寄り添っていき。そんな想いから、「わいわいダイニング」を企画しました。